

まごころ

ともに生きる暮らしをめざして
特定非営利活動法人
尾張地域福祉を考える会まごころ
まごころ 訪問介護事業所

市の福祉施策について

谷市長に聞く

介護保険制度がスタートし7カ月がたちました。本年5月には新たな社会福祉法が制定され、社会福祉への考え方も変わって参りました。この程谷市長をおたずねし、介護保険制度を含めた一宮市の福祉施策についてお話しを伺いました。

◆介護保険制度について

サービス提供体制は

整ってきつつある

・新しい理念に基づく介護保険制度そのものについてどうお考えでしょうか。
「制度自体に様々な矛盾、足りない部分があって、それを保険者としてどうカバーしていくのか課題、制度の根幹は国ですので、いろんな場をとらえて国の方に意見を言っていくかと思っております。介護保険は問題があります。従来福祉サービスに比べればサービス提供体制は整ってきつつあることは間違いないと思えます。基盤整備が進んだという面をとらえれば、それは制度が有効に働いていると言えます。」

・保険制度は市民の意識にどんな変化があったと思われませんか。
「市は保険者ではありませんが、直接サービスを提供する立場ではないので、市民がどう受け止めているのか直接伝わってきません。努力を積極的に行わないとそういう情報は入ってこないわけです。」

市の相談室にも介護保険が始まる前は結構相談者があったようですが、開始されてからはあまりないと聞いています。勿論それはいいいいこととはありません。近く800名の方を対象にアンケートを訪問調査で行いますので、市民の皆様がどう受けとめておられるのか分かります。お聞きください。

・これまで介護保険サービスが十分利用できているとお考えですか。
「これも、800名の調査を行わないと分かりませんが、7、8月にかけて予備調査として150名の方に調査を行ったところ、利用限度額からみて利用率は3分の1強の利用率、7割強の方がサービスをそれほど必要としなかったと

答えておられ、9%の方が利用料が負担だから利用しなかったと答えておられます。これは、内容など受けられる方がサービスをきちんと判断が出来ていたかどうか、はつきり分かりませんが、予想していたより利用率が低かったとみています。」

・ということは逆にいうと利用された方は必要なサービスが十分受けられたという事になりますか。
「介護度によって違い、介護度が低い方が多めに利用、逆に介護度が4のような高い対象者が利用が少ないという結果が出ています。調査の対象が少ないので、意味のあるものかどうか分からない点があります。」

安心の介護確保

運営協議会設置

・利用率が低いというの以外に、サービスの内容がよく分からないというのもあるのではないのでしょうか。サービス内容やサービス事業所内容の情報をお知らせする用意はありますか。
「勿論、市としては是非とも行う必要がありますね。市民に対する責任として、現状をきちんと把握し、場合によっては事業所に改善の要望をすることもありません。」

今、準備しているところで、一宮市高齢者保健福祉運営協議会を新たに作り、その中に介護保険に関する調査や監視をしたり、苦情処理、相談をする窓口、あるいは提言するような部門をつくりたい。また介護保険以外の健やかに老いるための方策を検討、チェックを行っていく部門を作るなど、総合的な組織を作ります。そこでは、情報も収集したり、提供したり出来ると思えます。また、事業者同士の情報交換も必要である

と思えますが、民間の業者の方がお互いに話し合われることに、行政がどこまでかわかれるのかということがあります。民間の方にお任せしておいたのでは、いろんな事情でなかなか進まない場合があるのでは、お声がけをして立ち上げるお手伝いをするということとです。」

・その中にはいわゆる第三者的なオンブズマン的な要素は含まれますか。
「そういうものは含ませたいと思っております。いわゆる相互のチェックですね。単一の職種や団体ではなく、幾つかの団体や職種が存在することによって相互に議論をし合う仕組みが大事だと思っております。そういう形で作っていきたいと思っております。」

・次に苦情についてこれは、利用者と事業者との間のみの問題ではなく、保険制度は税金や保険料の上でなりたっていることですので行政は保険者として責任があると思われませんか。相談窓口のみならず、その対応、処理にどこまでかわられる用意がありますか。
「市は当然かわらなければならぬと思っております。この協議会の中に苦情処理部門を作って、積極的にかわっていきます。支援センターや介護相談窓口の方々、事業所の方々などいろんな職種の方に入っていただいで集約していきます。レベルが様々ですがスピードが必要ですので少なくとも対応チャンネルは常にもっていかねければならないと思っております。」

それをしないと介護保険制度そのものが確立されませんから。情報を吸い上げて、サービス全体を管理し、具体的にどうするかという、安心できる連絡会にしていきたく思っています。」

